

MT8870A IQデータの取得

ユニバーサルワイヤレステストセット MT8870A

はじめに

このアプリケーションノートでは、CombiView SRW appletを使用してIQデータを取得し、分析のためにアンリツに送信していただく方法を説明します。

図1の例のように、パケットを取得できてもEVMの結果が得られない場合に、分析のためIQデータの送信が必要になる場合があります。

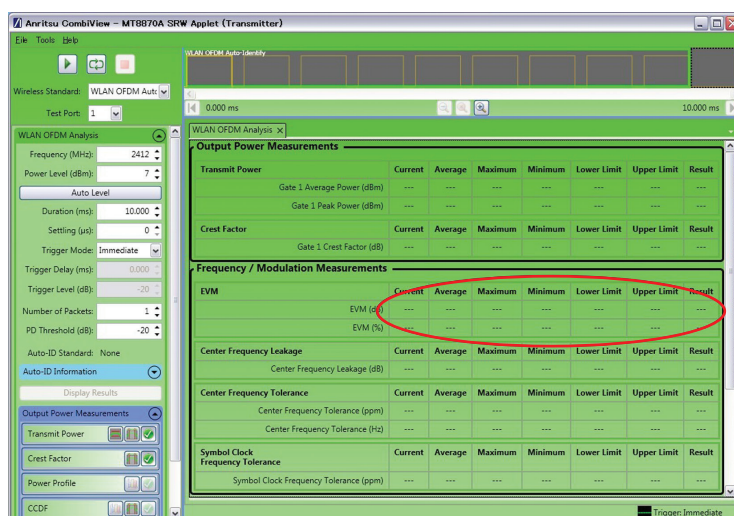


図1. EVM Data Not Generated

IQデータを取得する前に

1. “Power Level”設定が正しいことを確認します。パワーレベルは、MT8870Aが測定を行うパワーを示します。DUT TXパワーからDUTとMT8870A間のパスロスを差し引いたパワーに設定する必要があります。[Auto Level]をクリックすると、DUTから送信されるデータに適したパワーレベルに自動的に設定されます。
2. DUTから送信されるデータに関して周波数が正しいことを確認します。
3. 無線規格が“WLAN OFDM Auto-ID”または“WLAN 802.11ac”に設定されている場合は、“Full Mask Enable”の選択をオフにします。手順は次のとおりです。
 - (1) CombiView設定フレームの一番下にスクロールします。
 - (2) “Spectral Profile Settings”セクションを展開します。
 - (3) “Full Mask Enable”のチェックマークを外します。

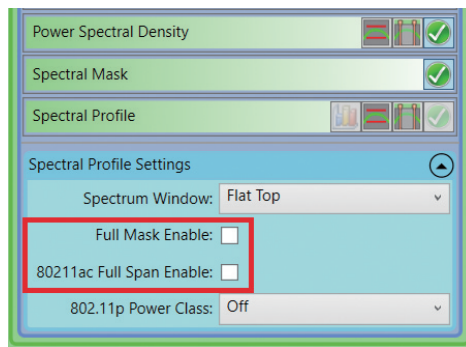


図2. Full Mask Enable Setting

4. “Run once”を選択しパケットをキャプチャします。

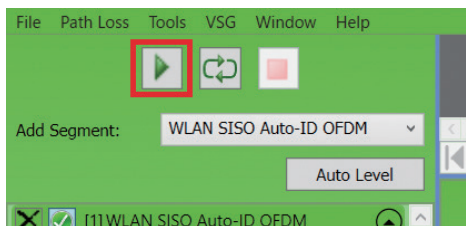


図3. Start Measurement

IQデータの取得

1. “Tools” > “Diagnostics” > “Download IQ Data”をクリックします。
2. [Save]をクリックし、.txtファイルを適切な場所に保存します。
3. ファイルを開き、下図の例のように取得情報およびIQデータが含まれていることを確認します。

```

Number Of Segments,1
Capture Status,0
Segment Index,1
Segment Status,0
Segment Offset,0
Segment Width,200000
Number Of Packets,8
Packet Index,1
Packet Status,0
Packet Offset,21048
Packet Width,12680
Packet Index,2
Packet Status,0
Packet Offset,42424
Packet Width,12680
Packet Index,3
Packet Status,0
Packet Offset,63800
Packet Width,12680
Packet Index,4
Packet Status,0
Packet Offset,85176
Packet Width,12680
Packet Index,5
Packet Status,0
Packet Offset,106552
Packet Width,12680
Packet Index,6
Packet Status,0
Packet Offset,127928
Packet Width,12680
Packet Index,7
Packet Status,0
Packet Offset,149304
Packet Width,12680
Packet Index,8
Packet Status,0
Packet Offset,170680
Packet Width,12680
Segment IQ Data
-0.7132454,0.4341583
-0.2164652,0.6140429
-0.04358978,0.4660832
-0.2323785,0.0141718
-0.5436955,-0.6993294
-0.0841856,-1.209463
-0.5841132,-0.98077
-0.6662278,-0.1620291
-0.7879415,0.7700861
-0.481841,1.259601
0.4025404,1.090972
1.493666,0.7634863

```

図4. IQ Data

4. 分析のため、ファイルをアンリツに送信してください。